

公開シンポジウム「モダリティーが切り拓く次世代創薬」の開催について

1. 主催：日本学術会議薬学委員会 化学・物理系薬学分科会
2. 共催：日本薬学会、日本薬学会、日本生命科学アカデミー、日本核酸化学会、日本糖質学会、日本ケミカルバイオロジー学会、AMED（予定）
3. 後援：（未定）
4. 日時：令和2年12月8日（火）13:00～17:40
5. 場所：Web 開催
6. 分科会の開催：なし

7. 開催趣旨：

様々な疾患ニーズが増加するにつれ、バイオ医薬品や細胞医薬品などのモダリティー創薬が注目されている。モダリティー創薬は医薬品の多様性を増大させ、これからの医薬品の潮流をなすものと期待される。

本シンポジウムでは、モダリティー創薬の基盤となるエクソソーム、糖鎖などの生体構成物質と病変との関係、および、進展著しい核酸医薬や中分子創薬についての最新の研究成果についての話題提供を頂く。さらにそれら研究成果を社会実装につなげるためのレギュラトリーサイエンスについての情報を提供したい。

新井洋由先生に医薬品医療機器総合機構におけるモダリティー創薬におけるレギュラトリーサイエンスの方向性と戦略、和田猛先生に微細構造制御を可能とする有機合成化学による核酸合成とその社会実装、落谷孝広先生にがんとの関係が深く、診断やDDSのキャリアとしても期待されるエキソソーム研究、深瀬浩一先生に複合糖質合成を基盤とした生理活性中分子化合物の設計、遠藤玉夫先生にタンパク質糖鎖修飾と病変との関係の話題提供を頂く。

本シンポジウムにおいてそれぞれの分野のモダリティー研究の第一人者が一堂に介してお話いただくことにより、今後のモダリティー研究の統合的な理解

を促し、今後の発展につながることを期待したい。

8. 次第 (予定)

13:00 開会挨拶

嶋田 一夫 (日本学術会議連携会員・薬学委員会委員長・理化学研究所生命機能科学研究センター、チームリーダー)

司会 (座長) :

加藤 晃一 (日本学術会議連携会員・自然科学研究機構分子科学研究所、教授)

嶋田 一夫 (日本学術会議連携会員・薬学委員会委員長・理化学研究所生命機能科学研究センター、チームリーダー)

徳山 英利 (日本学術会議連携会員・東北大学大学院薬学研究科、教授)

永次 史 (日本学術会議連携会員・薬学委員会副委員長・東北大学多元物質科学研究所、教授)

講師 :

13:10 新井 洋由 ((独) 医薬品医療機器総合機構 (PMDA)、審査センター長・レギュラトリーサイエンスセンター長)

14:00 和田 猛 (東京理科大学薬学部生命創薬科学科、教授)

14:50 休憩

15:10 落谷 孝広 (東京医科大学医学総合研究所、教授)

16:00 深瀬 浩一 (大阪大学大学院理学研究科、教授)

16:50 遠藤 玉夫 (日本学術会議第二部会員・地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター、シニアフェロー)

17:40 閉会挨拶

長野 哲雄 (日本学術会議連携会員、東京大学創薬機構客員教授)

9. 日本学術会議第二部との関係の有無 :

下線は日本学術会議連携会員、二重下線は日本学術会議会員